別紙 — 3 ① 〔記入方法〕 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

考査項目	細別	а	b	C	d	e
1. 施工状況	I. 施工管理	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
11 //2 11 // () 1	1. %2.4.4.4.	● 評価対象項目			施工管理について、監督職員が文書	施工管理について、監督職員から
		□ 契約書第18条第1項第1号~	- 5 号に基づく設計図書の照査を行ってい	ることが確認できる。	による改善指示を行った。	の文書による改善指示に従わな
		□ 応工計画書が工事着手前に提出				かった。
		現場条件を反映したものとなっ				
		□ □ 工事期間を通じて、施工計画書		ステレが確認できる		
		□ 現場条件又は計画内容に変更か				
		ことが確認できる。	工 0 亿 % 1 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6 7 6	に交叉所凸目と提出している		
		□ 工事材料の品質に影響が無いよ	・る丁重材料を保管していることが確認で	きろ		
		□ □ 立会確認の手続きを事前に行っ		C 00		
		□ □ 建設副産物の再利用等への取り				
		□		ストルが確認できる		
		□ □ 下請に対する引き取り(完成)				
		□ □ 品質証明体制が確立され、品質				
		行っていることが確認できる。	(皿の具による内外自然、田木ル、田貞寺	*/7時間 と 工 事 王/(X (こ42/に 2 C		
		□ □ 工事の関係書類を不足なく簡素	Pに 敕押していることが確認できる			
		□ 社内の管理基準に基づき管理し				
		□ □ その他 「	C ( ) C C ( ) ( ) E ( ) C ( ) ( ) ( )	7		
		理由:				
		[ <u>z.</u> H .				
		● 判断基準	① 当該「評定対象項	目」のうち、対象としない項目は削除す	Lろ.	
		評価値が90%以上・・・・・・	<u>.</u> –	合は削除後の評定項目数を母数として計	-	
		評価値が80%以上90%未満・			/ 対象評価項目数 ( 0 )	
			<ul><li>・・・・ c</li><li>④ なお、削除後の評</li></ul>			
		A. 100 10711 1 /05/1-104			1	<del>-</del>
					l .	

別紙 - 3② 〔記入方法〕1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

	7 9 7 1 1 1 1	, , chi/(,	, a, o													(水五吳/
考査項目	a			a'		b			b'		С			d		е
3. 出来形及び 出来ばえ I. 出来形	□ 出来形の測定が 目について所分 づきたわれたした。 対を値をがあたり、 規格値の概定対象 以上が該当する。	Eの測定基準に基 り、測定値が規 そのばらつきが 0%以内で、下 項目」の4項目	_ 項目につい に基づき行 値が規格値 らつきが規 以内で、下	定が、必要な測定 でで、必要な測定基準 ででおり、その が満足し、その を 値の が が を が が が が が が が り で と り で と り で と り で と り で と り で と り で を り で れ で り で り で り で り で り で り で り で り の の り で り で	項目にでき になが規 値の力で、 以内で、	の測定が、必要な測 ついて 所定の測定打 を行われており、測 各値を満足し、その が規格値の概ね80 下記の「評定対象 3項目以上が該当す	基準 定ば % 項 目	頁目につい 工基づき行 直が規格値 かつきが 以内で、T	定が、必要な測定 いて 所定の測定基準 持われており、別定 直を満足し、そのば 退格値の概ね80% 記の「評定対象項 ほ目以上が該当す	- 項目 に基 値が	について 所 づき行われ <sup>っ</sup>	必要な測定 定の測定基準 でおり、測定 足し、a〜b'に	温度を	出来形の測定方法又は 測定値が不適切であっ た値め、監督職員がす 書で指示を行い改善さ れた。	ב ל	出来形の測定方法又 は測定値が不適切を 動ったため、検査職 員が修補指示を行っ た。
	<ul><li>□ 社内の管理</li><li>□ 不可視部分</li><li>□ 写真管理基</li></ul>	基準に基づき管理 の出来形が写真 準の管理項目を流	里していることが確 で確認できる。 満足している。	認できる。		ていることが確認で		_ ]	② 出来 ③ 出来) 及び	形とは、記 形管理と <i>は</i> 規格値に	設計図書に示 は、「土木コ 基づく形状で	上事施工管理基 け法を確保する	目的物の 基準」の る管理体	)形状寸法である。 )測定項目、測定基準		
	※ ばらつきの半	川断は別紙-7参	照。													
-	工種		a	a'		b			b'		c			d		е
	機械設備工事		優れている	□ bより優	<b></b> れている	□ やや優れ	している		やや優れている		他の評価に	こ該当しない		やや劣っている		劣っている
	ず、当該欄で評※上記欄によら	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	に関する出来形管 全般にわたり、形: 管理基準の撮影記 図書で定められて 視部分の出来形が 管理基準の出来形が 管理基準の出来形が の管理基準に基づ 図書に定められて 整備における既設 他 理由:	状及び寸法の実測( 禄が撮影基準を満りいない出来形管理中 写真で確認できる。 管理が適切にまとと 管理が適切にまとと き管理しているこ いる予備品に不足っ	直が許容範囲が さし、出る 直目について、 かられており、 からが確認とが が無いことが が無いことが	監督職員と協議の 出来形の確認がで 出来形の確認がで る。 を記できる。 整備前と整備後の	確認ができ 上で管理し きる。 きる。 きな。 老化状況及	る。 ているこ び回復状				<b>ప</b> ం	温き	出来形の測定方法又に 測定値が不適切であっ ため、監督職員が 書で指示を行い改善さ れた。	_ て	出来形の測定方法又 は測定値が、 高値を 動ったた。 最が修補指示を行っ た。
		評価値が 評価値が 評価値が 評価値が	90%以上 · · 80%以上90%; 70%以上80%; 60%以上70%; 60%未満 · ·	未満 未満 ・・・・・	a' b b'	② 削除項目 ③ 評価値(	のある場合 ( #DIV/0	は削除後 )! % )	の評定項目数を母数。 = 評価数 ( 数が2項目以下の場)	として計算 0 )	章 した比率 / 対象					

(給杏昌)

別紙 - 3 ③ [記入方法] 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

(10/1/2/12) 1: 10/2		. / と に / 0 。						(版五页/
考査項目	工 種	а	a'	b	b'	С	d	e
3. 出来形及び	電気設備工事	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ	通信設備工事	● 評価対象項目						
H/16/6/2	<ul><li>・受変電設備工事</li></ul>	● 肝臓/5% 火日						
							the degree of the death of the second	the terror - State to No.
		□ □ 据付に関する出来形管理	が容易に把握できるよう、出来	そ形管理図及び出来形管理表をコ	[夫していることが確認できる。		□ 出来形の測定方法又は	
I. 出来形	ず※	□ 機器等の測定(試験)結	果が、その都度管理図表などに	こ記録され、適切に管理している	ことが確認できる。		測定値が不適切であっ	
	^Ê	□ 写真管理基準の管理項目		2777 - 1 - 1 - 1			たため、監督職員が文	
	当記						書で指示を行い改善さ	
	価該欄	□ □ 不可視部分の出来形が写					れた。	た。
	欄に	□ □ 設計図書で定められてい	ない出来形管理項目について、	監督職員と協議の上で管理して	「いることが確認できる。			
	でよ	□ □ 設備全般にわたり、形状	寸法の実測値が許容範囲内で	であることが確認できる。				
	評ら	□ 設備の据付、固定方法が			. 7			
	n 9				. D.			
		□ □ 配管及び配線が設計図書						
		□ □ 行先などを表示した名札	が、ケーブルなどに分かり易く	(堅固に取り付けている。				
		□ □ 配管及び配線の支持間隔	や絶縁抵抗等について、設計図	図書の仕様を満足していることか	が確認できる。			
		□ □ 社内の管理基準に基づき			7 2 30	¥		
			日注していることが推動できる	) o		т		
		□ □ その他 「			1			
		● 判断基準		① 当該「証定計免項日」	のうち、対象としない項目は削	栓する	4	<u> </u>
		評価値が90%以上・・			は削除後の評定項目数を母数とし			ļ
		評価値が80%以上90%未	満 ・・・・ a'	③ 評価値( ( #DIV/0!	% ) = 評価数 ( 0	) / 対象評価項目数	( 0 )	
		評価値が70%以上80%未	満 • • • • b	<ul><li>④ なお、削除後の評価対</li></ul>	対象項目数が2項目以下の場合は	、C評価とする。		į
		評価値が60%以上70%未	満 · · · · · b'	*			T	T
		評価値が60%未満・・・						
		計画値が00/0水画						

(検査員)

〔記入方法〕 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

考査項目	工 種		а		a'		b		b'			С		d		е
3. 出来形及び	コンクリート構造物		品質関係の試験結果のばらつ	つきと評価対象	項目の履行状	:況(評価値)カ	いら判断する。<	判断基準参	象照>		•			品質関係の測定方法	又 □ 品質関係	系の測定方法
出来ばえ	工事		[関連基準、土木工事施工管	理基準、その位	他設計図書に知	すめられた試験	1							は測定値が不適切で		を値が不適切
			※ ばらつきの判断は別紙-			_ / J   1   1   1   1   1   1   1   1   1	-							あったため、監督職		ため、検査
Ⅱ. 品質			評価対象項目	. > ////0									1	が文書で指示を行い 善された。	双	を補指示を
п. шд		_	□ コンクリートの配合試験	100 TA 7 13 14 15 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16	たケーアかり	コンカリート	の日所(陸座	/ _ 具 -		U.Mm.W. 具.				古で40/0。	11.270	
		ш					の回貝(畑及・W	/ C、取/	(目的松任、塩1	L物彩里、						
		_	単位水量、アルカリ骨材			-		7"		11 A 7 D	っこよ おなり	) .L.v== [] \1\V	1180 3-	. <del></del>	<u>L</u>	······
			□ コンクリート受け入れ		食を実施してお	り、温度、スラ	<b>ランプ、</b>				のうち、対象と			-		_
			空気量等の測定結果が研	確認できる。										·算した比率 (%) 計		る。
			□ 圧縮強度試験に使用した	たコンクリート	・供試体が、当	該現場の供試体	はである	ļ	③ 評価値 ( (	#DIV/0!	% ) =	評価数 (0	)	/ 対象評価項	目数 (0	)
			ことが確認できる。					ļ	④ なお、削除	後の評価対	対象項目数が2項	[目以下の場合に	t, C	評価とする。		
			□ 施工条件や気象条件に通	適した運搬時間	1、打設時の投え	入高さ及び締固	め方法が、定め	られた条件	を満足している	こと			<u> </u>			
			が確認できる。 (寒	中及び暑中コン	クリート等を	含まで)										
		Ιп	□ コンクリートの圧縮強度				が支保工の取り	外上を行っ	っていることがる	雑認できる						
			□ コンクリートの打設前に					/10611.	, , , , , , , ,	TEND CC O	· o					
						0000000										
			□鉄筋の品質が、証明書類		-	1 × Mi. 6401 = 11 -401			11 mb = 27 - 2 - 2							
			□ コンクリート打設まで					ていること	こか催認できる。							
			□ 鉄筋の組立及び加工が、													
			□ 圧接作業にあたり、作業					_	● 判断基準							,
			<ul><li>コンクリートの養生が、</li></ul>	、設計図書の仕	:様を満足して	いることが確認	2できる。					ばらつきで判		能	ばらつきで	
			□ スペーサーの品質及び値	個数が、設計区	書の仕様を満	足していること	こが確認できる。				50%以下	80%以7	F	80%を超える	判断不可能	
			□ 有害なクラックが無い。						90%.	以上	a	a'		b	b	
			□ その他 「						評 75%以上9	90%未満	a'	b		b'	b'	
			理由:						価 60%以上	75%未満	b	b'		С	С	
			[ · <u>a</u> ,						60%	未満	b'	С		С	С	
			□ クラックがある場合、☆	准行州:マル右生	ミかクラックが	かく 発生した	・カラッカ	<u>_</u>				の判断ができた	51.7.1年	合は評価対象項目		_
			に対しては有識者等の意						(評価値)			(A) [JB](V. C.G.)	s v -///	口(3) 四八次、尺口		
			上記該当があれば	・・・・・		. 20 % 11/11	加 12多点		(山岡田)	/C() CHTIL	ш у "О о		i		ı	
			工品以 目 23-834 ( ) 4		C											
	土工事	П	я	ПП	a'	П	1	ПП	b'		Το	c	П	d	П	e
			品質関係の試験結果のばらっ				D D				<u>l</u> L	С	_	a 品質関係の測定方法		e 系の測定方法
	等工事)						- 1 / - 0	刊断基準	> 照 >					ロ 関 は 測定値が 不適切で		を値が不適切
	4 47		[関連基準、土木工事施工管		也設計凶書に対	Eめられた試験.	J							あったため、監督職		こため、検査
			※ ばらつきの判断は別紙-	- 7 参照。										が文書で指示を行い		を補指示を
		_	評価対象項目											善された。	行った。	
			□ 雨水による崩壊が起こ	らないように、	排水対策を実	施していること	こが確認できる。									
			□ 段切りを設計図書に基べ	づき行っている	ことが確認で	きる。										
			□ 置換えのための掘削を行	行うにあたり、打	掘削面以下を刮	乱さないように	施工しているこ	<b>と</b> が	<ol> <li>当該「評定」</li> </ol>	対象項目」	のうち、対象と	しない項目は肖	川除す	`る。		
			確認できる。						② 削除項目の	ある場合に	は削除後の評定項	[目数を母数とし	て計	算した比率 (%) 計	算の値で評価す	る。
			□ 締固めが設計図書に定め	められた条件を	·満足している	ことが確認でき	きる。		③ 評価値((	#DIV/0!	% ) =	評価数 ( 0	)	/ 対象評価項	目数 (0	)
			□ 一層あたりのまき出し!!								対象項目数が2項		,			ĺ
			□ 芝付け及び種子吹付を記				- が確切できる	i.	(±) 1040 (111)	(X -> p1   m/>.	120 7 1 200 2 7	(10,1100001	T -	#1 M C / O	Т	
			□ 構造物周辺の締固めを記						● 判断基準				ı		I	
							こが帷祕できる。	Г	刊附基準		1	ばとっとっか	inka ar-	Ah.	<i>ばと</i> った つ	ا ا
			□ 土羽土の土質が設計図書									ばらつきで判			ばらつきで	
			□ CBR試験などの品質管		(験を行ってい	ることが確認て	<b>できる。</b>				50%以下	80%以7	`	80%を超える	判断不可能	
			□ 法面に有害な亀裂が無い	V '0					90%.	-	a	a'		b	b	<u> </u>
			□ 伐開除根作業が設計図書	書に定められた	条件を満足し	ていることが確	隹認できる。		75%以上9	90%未満	a'	b		b'	b'	
			□ その他 「					ı l	値 60%以上7	75%未満	b	b'		С	С	
			理由:						60%	未満	b'	С		С	С	
								_	※ 試験結果の	打点数等が	ぶ少なくばらつき	の判断ができた	よい場	合は評価対象項目		_
									(評価値)							
									(e) her her/	сыг	_,,		1		1	
	l															

別紙 - 3 ⑤ 〔記入方法〕 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

考査項目	工種		а		a'		b			ь' [	7	С			d		e
3. 出来形及び	護岸・根固・水制工								72 <			-			関係の測定方法又		
出来ばえ	東	ш						、刊例 盔毕参照	*/						定値が不適切で		を値が不適切
山木はん	7			L事施工管理基準、そ	の他取引凶者に	. 足のり40に試	呎」								たため、監督職員		こため、検査
* H 66			※ ばらつきの判断	川は別紙一 / 参照。											書で指示を行い改		を補指示を
I. 品質			評価対象項目												れた。	行った。	
				滑に仕上げているこ。											40700	11 > 100	
				込めコンクリートの約				ることが確認っ				·					
				、石積(張)、法枠、						当該「評定対象項目							_ ,
				込材の吸出しが無い。						削除項目のある場合					,,		
				において、大きさ及び	び重さが設計図	書の仕様を満足	としていること			評価値 ( ( #D]						頁目数 (	0 )
			が確認できる	•						なお、削除後の評価	<b>Б対象項目数</b>	が2項目	以下の場	合は、C	評価とする。		i
				や曲線部の処理が適り													
				所定の幅で重ね合わっ						る。							
				生の種類、品質、配合													
				工、沈床工、捨石工等		料の連結及びか	み合わせが設計区	図書の仕様を消	島足し~	ていることが確認で	きる。						
				質が、証明書類で確認													
				て、掘り過ぎが無くカ													
				ブロック等を損傷無。					<u> </u>	判断基準							
				て、床堀箇所の湧水				2できる。					ばらつきて		_	ばらつき	-
				ついて、設計図書の作	仕様を満足してい	ハることが確認	『できる。				50%	以下	80%	以下	80%を超える	判断不可	能
			□ 有害なクラッ	クが無い。					章亚	90%以上		3	а	,	b	b	
			□ その他 「	•				٦	価	75%以上90%未満	i a	,	ł	)	b'	b'	
			L	理由:				_ ]	値	60%以上75%未満	ij l	)	b	,	c	c	
										60%未満	b		(	2	c	С	
			コンクリート	ブッロク張等にクラ	ックがある場合、	進行性又は有	「害なクラックはた	2<,	*	試験結果の打点数等	₽が少なくば	らつきの	判断がで	きない場	合は評価対象項目		
			発生したクラ	ックには適切な処置	を行っている。	※ 別紙-7	7を参照			(評価値) だけで評	『価する。						
			上記該当があ	<i>れば</i> ・・・	• c												
	鋼橋工事		a		a'		b			b' [		c			d		e
	(RC床版工事はコ		品質関係の試験結	果のばらつきと評価	対象項目の履行	犬況 (評価値)	から判断する。く	(判断基準参照	段>	•				□ 品質	関係の測定方法又	□ 品質関係	系の測定方法
	ンクリート構造物に		[関連基準、土木]	口事施工管理基準、そ	の他設計図書に	定められた試験	験]							は測	定値が不適切で	又は測定	定値が不適切
	準ずる)		※ ばらつきの判断	fは別紙-7参照。											たため、監督職員		ため、検査
		•	評価対象項目												書で指示を行い改		を補指示を
		[	工場製作関係】											きき	れた。	行った。	
			□ 鋼材の種別を	、品質を証明する書類	類又は現物によ	り照合している	ことが確認できる	5.									
			□ 溶接作業にあ	たり、作業員の技量を	確認を行っている	ることが確認で	ぎきる。										
			□ 溶接作業にあ	たり、溶接材料の使用	用区分が設計図	書の仕様を満足	していることが確	隹認できる。									
			□ 溶接施工に係	る施工計画書を提出	していることがね	確認できる。											
			□ 孔空けによっ	て生じたまくれが削り	り取られている	など、きめ細や	かに製作している	ることが確認っ	<b>ごきる。</b>	,							
			□ 欠陥部の発生	が見られないことがる	確認できる。												
			□ 塗装作業にあ	たり、塗布面を十分に	に乾燥させて施	Lしていること	が確認できる。										
			□ 素地調整を行	う場合、第1種ケレン	ン後4時間以内に	こ金属前処理塗	装を実施している	ることが確認っ	できる。	,							
			□ 塗料の空缶管	理について、写真等で	で確実に空である	ることが確認で	ぎきる。										
			□ 塗料の品質が	出荷証明書、塗料成績	績表により、製油	5年月日、ロッ	ト番号、色彩、数	女量が確認でき	きる。								
			□ その他 「	•				٦									
				理由:				_ ]									
		[	架設関係】							当該「評定対象項目							
			<ul><li>ボルトの締付</li></ul>	確認が実施され、記録	録を保管している	ることが確認で	ぎきる。		2 i	削除項目のある場合	は削除後の	評定項目	数を母数	として計?	算した比率(%)言	†算の値で評	価する。
			□ ボルトの締付	機及び測定機器のキー	ャリブレーション	ンを実施してい	いることが確認でき	きる。		評価値 ( #D]						〔目数( 0	)
			□ 高力ボルトの	締め付けを、中心かり	ら外側に向かっ、	て行っているこ	とが確認できる。		4	なお、削除後の評価	Б対象項目数	が2項目	以下の場	合は、Ci	評価とする。		
			<ul><li>高力ボルトの</li></ul>	品質が、証明書類では	確認できる。												
			□ 支承の据付で	、コンクリート面の	チッピング及びイ	士上げ面に水切	]勾配がついている	ること		判断基準			•				
			が確認できる	0									<b>ずらつき</b> 7			ばらつき	
			□ 架設にあたっ	て、部材の応力と変形	形等を十分検討	していることが	4確認できる。				50%	以下	80%	以下	80%を超える	判断不可	能
				仮設備及び架設用機構				きを	評	90%以上		1	а	,	b	b	
			有して確認し	ていることが確認で	きる。				一冊	75%以上90%未満	i a	,	ł	)	b'	b'	
			□ 現場塗装部の	ケレン及び膜厚管理	を適切に行ってい	いることが確認	いできる。		値	60%以上75%未満	i l	)	b	,	С	С	
			□ 現場塗装にお	いて、温度、湿度、原	風速等の確認を行	行っていること	が確認できる。		III.	60%未満	b	,	(	2	С	c	
			□ その他 「	•				٦	*	試験結果の打点数等	₹が少なくば	らつきの	判断がで	きない場	合は評価対象項目	_	
				理由:				J		(評価値) だけで評	平価する。						
																	·

## 別紙-3⑥

〔記入方法〕 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

考査項目	工 種		a		a'			b			b'		С			d		е
3. 出来形及び	砂防構造物工事及び		品質関係の試験結果のば	らつきと評価	対象項目の履行状況	兄 (	評価値)から	判断する。<判	断基準参	照>					□ 品質	質関係の測定方法又	□ 品質関係	の測定方法
	地すべり防止工事		[関連基準、土木工事施]													則定値が不適切で _		直が不適切
	(集水井工事を含		※ ばらつきの判断は別刹				7 4 6 7 C IP 4 6 7 C ]									ったため、監督職員		ため、検査
Ⅱ. 品質	to)		評価対象項目	· / >>////												文書で指示を行い改 された。	職員が修 行った。	#指不を
11. 前負															晋(	≥ XU/こ。	11つた。	
		_	共通】					a ee cac da										
		ш	□ コンクリートの配合			コン	/クリートの計	品質(強度・w/	c、最大	骨材粒径	E、塩化物総量、	単位水量	Ι,					
			アルカリ骨材反応抑															
			□ コンクリート受け入	れ時に必要な	試験を実施しており	o 、i	温度、スラン	プ、空気量等の	測定結果	が確認て	<b>ぎきる。</b>							
			□ 圧縮強度試験に使用	したコンクリ	ート供試体が、当該	亥現	場の供試体で	あることが確認	できる。									
			□ 運搬時間、打設時の搭	入高さ、締固	時のバイブレータの	の機和	種及び養生方	法が、施工条件	及び気象	条件に適	<b>重しており、定め</b>	られた						
			条件を満足している	- レが確認で	きる. (寒中及 び	暑中	ココンクリー	ト等を含む)										
		Ιп	□ コンクリートの圧縮						面り外1	か行って	<b>こ</b> いろ							
			<ul><li>□ 地山との取り合わせ</li></ul>					一件及り文体工の	407710	G11 > C	. 4 .00							
			_,			( 4 .	చ.											
			□ 鉄筋及び鋼材の品質		に唯祕できる。													
			□ 有害なクラックが無	( ) <sub>0</sub>														
			□ その他 「						1									
			_ 理由:						]									
		ľ	砂防構造物工事に適用】															
		_	□ コンクリート打設ま	でさび、どろ	油等の有害物が	鉄色	節に付着した	いよう管理して	いること	が確認で	*きる。							
			□ 鉄筋の組立及び加工							14 khrhq. c								
			□ 施工基面を平滑に仕				一 こ いっぱ田中心 く	C.20°										
						- 1	2° 706 → 11 → 7											
			□ アンカーの施工が、					-										
			□ ボルトの締付確認が															
			□ ボルトの締付機及び	則定機器のキ	ャリブレーションを	を実	施しているこ	とが確認できる	0									
			□ その他 「						1									
			理由:							① =	当該「評定対象項	頁目」のう	ち、対象とし	ない項目	は削除す	<b>上る。</b>		
										② 肖	削除項目のある場	場合は削り	除後の評定項目	数を母数	として計	+算した比率(%)ま	+算の値で評価	する。
										(3) ₽	平価値 ( #	#DIV/0!	%) = 評信	価数 (	0 )	/ 対象評価項	[目数( 0	)
		ľ	地すべり対策工事(抑止析	<ul><li>集水井戸</li></ul>	「事を含む) 】						お、削除後の評							
			□ アンカーの施工が、		/ -	- L.	が確韧できる			1	5.44 ( 134)4 DC - H1	1 11007 3 23 7			I	- HT IM G / G /		
			□ ライナープレートの					-	:   カプ・キェ									
										0								
		_	□ ライナープレートと															
			□ 集・排水ボーリング	上の万同及び	角度が、適止となる	5 J	っ に 施工上の	配慮をしている	ことが確	認できる	0 0							
			□ その他 「						1									l
			_ 理由:						]									
										● #	判断基準							
														ばらつき	で判断可	能	ばらつきで	
													50%以下	80%	。 以下	80%を超える	判断不可能	
											90%以上		а	a	a'	b	b	
										評	75%以上90%未	∹満	a'		b	b'	b'	
			□ クラックがある場合	進行性マゖ	有宝かクラックが無	旺く	発生したカ	ラックに対して	14	価ー値	60%以上75%未		b	1	· o'	c	c	$\dashv$
			有識者等の意見に基					) ) ) (CA) U C	10	1但	60%未満	< Ibd	b'		c	C	c	_
				J へ 処 直 を 1 J	-	73'17	1200円			>• →		たなぶ ハユ				 場合は評価対象項目	·	
			上記該当があれば	· · ·	- с									刊断が	さない場	g百は評価対象項目		
											(評価値) だけで	ご評価する	0 0		ı	i		
		1																

別紙-3(7) [記入方法] 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。 (検査員) 工種 舗装工事 □ 品質関係の測定方法又 □ 品質関係の測定方法 3. 出来形及び □ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> は測定値が不適切で マは測定値が不適切 出来ばえ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] あったため、監督職員 であったため、検査 ※ ばらつきの判断は別紙-7参照。 が文書で指示を行い改 職員が修補指示を Ⅱ. 品質 ● 評価対象項目 善された。 行った。 【路床・路盤工関係】 □ □ 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。 □ □ 路床及び路盤工のプルーフローリングを行っていることが確認できる。 □ □ 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ □ 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 □ □ 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 □ □ 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20 c m以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。 □ □ 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンパ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 □ □ その他 理由: 【アスファルト舗装工関係】 □ □ アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。 □ ■ 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 □ □ プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 □ 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。 □ □ 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。 □ 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ □ その他 ① 当該「評定対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 理由: ② 削除項目のある場合は削除後の評定項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 ( #DIV/0! %) = 評価数 ( 0 ) / 対象評価項目数( 0 ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。 【コンクリート舗装工関係】 □ コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、 アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 □ 舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。 □ □ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 □ □ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 □ 運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 □ 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。 □ □ チェアー及びタイバーを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。 ● 判断基準 □ □ その他 ばらつきで判断可能 ばらつきで 理由: 50%以下 80%以下 80%を超える 判断不可能 90%以上 b a a' b 75%以上90%未満 b' 60%以上75%未満 h С 60%未満 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで評価する。

# 別紙-3⑧

【記入方法】 1. 該	当する項目の凵	」に 「レ」	マークを記入する。							(検査員)
考査項目	工	種	□ a □ a' □ b □		b' 🔲	c			d	е е
3. 出来形及び 出来ばえ	法面工事		□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況 (評価値) から判断する。<判断基準参照> [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ ばらつきの判断は別紙−7参照。					しはあっ	質関係の測定方法又 測定値が不適切で ったため、監督職員 文書で指示を行い改	□ 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため、検査 職員が修補指示を
Ⅱ. 品質			● 評価対象項目						された。	行った。
			【共通】					1		
			□ 庫工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 (特に法枠工、コンクリート又はモルタル吹付コ							
			□ 応工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認でき □ □ 成土の施工になたり、法面の崩壊が起こらないとら終用めた上分行っていることが確認できる。	さる。	0			1		
			□ 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っていることが確認できる。 □ ☆ ☆ □ □ 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。							
			理由:							
			【種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関係】							
			□ □ 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。							
			□ □ ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。							
			□ □ ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 □ □ 吹付け厚さが均等であることが確認できる。							
			□ □ 吹竹り厚さが均等であることが確認できる。 □ □ 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。							
			□ □ 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。							
			□ □ その他 「							
			理由:							
			【コンクリート又はモルタル吹付工関係】							
			□ 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。					İ		
			□ □ 金網が破損を生じていないことが確認できる。							
			□ □ 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。					İ		
			□ □ 吹付け厚さが均等であることが確認できる。					İ		
			□ □ 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。					İ		
			□ □ 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。					İ		
			□ 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。	·				L		
					i該「評定対象項目」(				,	はなのはて恋ケーフ
					除項目のある場合は      価値 ( #DIV/0					
					: お、削除後の評価対	, , ,		,		スロ奴( 0 )
			<u>1. ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~</u>	<i>y</i>	(40 ( 1) 1) A ( ( ) A ( ) II ( ) ( )	X X F 3 X F		100	O # 1 IM C / U 0	<del>'</del>
			【現場打法枠工関係(プレキャスト法枠工含む)】					l		
			□ 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	判	断基準					·
			□ □ アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。				ばらつき			ばらつきで
			□ 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。		0/0/1	50%以下		以下	80%を超える	判断不可能
			□ 強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 □ は サロスの呼ばない ことは がまままえ	<sub>¥</sub>	90%以上	a ,		a'	b	b
			□ □	<u></u> Б	75%以上90%未満 60%以上75%未満	a' b		b o'	b'	b'
			□ □ 層間にはく離が無いことが確認できる。	<u> </u>	60%以上75%未満	b'		c	c C	c c
				: 話	験結果の打点数等が					C
			理由:		(評価値) だけで評価		. Laberty . C	C . O. 4 . 2	※ □ 19H1   ■ Ⅵ ≫ - 宮口	
	1		L	,	,	, 40	ı	ı		İ

別紙 — 3 ⑨ 〔記入方法〕 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

〔記入方法〕 1.	該当する項目の□に「レ」	マーク	を記入する。													(検査員)
考査項目	工種		a		a'		b		b	)'		С			d	е
3. 出来形及び 出来ばえ Ⅱ. 品質	基礎工事および地盤 改良工事	● 【お	品質関係の試験結果。 [関連基準、土木工事 ※ ばらつきの判断は 評価対象項目 「関係(コンクリート □ 杭に損傷及び補	作施工管理基準、 は別紙-7参照。 ・鋼管・鋼管井行	その他設計図書に 筒、場所打、深礎	定められた	_,	<判断基準	≦参照>					は測定値が あったため		□ 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切 であったため、検査 職員が修補指示を 行った。
		_	□ 既製杭の打止め <sup>2</sup>			里の方法が駅	整備されており.		① 当該	(「評定対象項目	目」のうち、	対象としない項	目は削	除する。		
				していることが確		1.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	EMI CAO CAO A							-	比率(%)計	·算の値で評価する。
			<ul><li>□ 杭頭処理におい</li></ul>		-,	が確認できる	5.		③ 評価	6値 ( #D	IV/0! %)	= 評価数	( 0	) /	対象評価項	目数(0)
			□ 水平度、鉛直度	等が、設計図書を	:満足していること	とが確認でき	きる。		④ なお	る、削除後の評価	<b>西対象項目</b> 数	数が2項目以下の	場合は	t、C評価と	する。	
			□ 溶接の品質管理	に関して、設計区	書の仕様を満足し	していること	とが確認できる。									
			□ 支持地盤に達し													
			□場所打杭につい									a-6-7-7-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1				
			□ 掘削深度、排出:							図書を満足して	こいることが	14 帷祕できる。				
		_	<ul><li>□ 配筋、スペーサ・</li><li>□ ライナープレー</li></ul>													
			□ 裏込材注入の圧				(旭上しているこ	こい、北田中の くら		判断基準			ı		I	
			□強度確認、セメ			-	頁の管理資料を整	里している		1317101		ば	らつき	で判断可能		ばらつきで
			ことが確認でき	る。								50%以下	80%	%以下	80%を超え	る 判断不可能
			□ その他 「					٦	<b>∓</b> ज	90%以_	Ŀ	а		a'	b	b
			_ 理	曲:				]	一一一一一一	75%以上90%	%未満	a'		b	b'	b'
									値	60%以上75%		b		b'	c	С
			1.60.07 do 88.60 \$							60%未清		b'	Hiller 18 -	C	C	c
			b盤改良関係】	Marian 20 Apr 20 abbram 14	. ). anal material	1184 44-11		m	*			なくばらつきの判 マ	断がで	ざない場合	は評価対象項	l 🗏
			<ul><li>□ 改良材のバッチ<sup>6</sup></li><li>□ セメントミルク<sup>6</sup></li></ul>						. 7	(評価値) だり	けで評価する	5.	ı		ı	
			□ 事前に土質試験:						- 0							
			□ 施工箇所が均一													
			<ul><li>一 № 2回//~ 1.5 ·</li><li>□ その他 г</li></ul>	I SALCAUCT &	,	& JA/X/X O J	~11777 E PEPR O C	ו א	EMP CC 00							
				!由:												

別紙 — 3 ⑩ 〔記入方法〕 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

[記八刀伝] 1. 政:	ヨッる独自の		Υ.	ノを此八りる。												(1円)	LĘ/
考査項目	工	種		a		a'		b			b'		c		d	е	
3. 出来形及び	塗装工事			品質関係の試験結	手果のばらつきと評価	H対象項目の履行	状況 (評価値):	から判断する。	<判断基準参	照>						□ 品質関係の測定	
出来ばえ				[関連基準、土木]	工事施工管理基準、	その他設計図書	こ定められた試験	₹]							定値が不適切で	又は測定値が不 であったため、	
				※ ばらつきの判	断は別紙-7参照。										たため、監督職員	職員が修補指示	
Ⅱ. 品質			•	評価対象項目											れた。	行った。	_
					たり、塗布面を十分	トに 乾燥させて施	Tしていること	が確認できる。							.,,,,,	14 - 1-0	
					に実施していること			14 HEHE. C C 00									
			_		・認、気温及び湿度の		法作業を行って	ハステレが確認	<b>リ</b> できる		当該「評定対象項	ヨ」のうち	対象レー	かい項目は削除す	· A		
					i応、X価及び並及り jに撹拌し、容器の塗									, , , , , , , , , , , , , , , , , ,	- 0	+算の値で評価する。	l
															# C/に比中 (76) 日 / 対象評価項		1
			_		「被塗装面の汚れ、油				· ᢒ 。	_	計価値 ( #D なお、削除後の評					は日数( 0 )	ļ
					理について写真等で					(4)	なわ、刑际仮の計1	四刈 家頃日剱	<i>か 2 </i> 項日.	以下の場合は、し	評価とりる。		i
					がれ、しわ等が無く			- 0									
					・トの接合部分、構造						きる。						
					3出荷証明書、塗料成	<b>え績表により、製</b>	造年月日、ロッ	卜番号、色彩、	数量が確認で	-				ļ			
				□ その他					7	_	判断基準						
					_ 理由:				]					ばらつきで判断可		ばらつきで	
												50%	以下	80%以下	80%を超える	判断不可能	
										alore .	90%以上	a	a	a'	b	b	
										評価	75%以上90%未濟	描 a	,	b	b'	b'	
										値	60%以上75%未清	茜 l:	)	b'	С	С	
										IIE.	60%未満	b	,	С	С	С	
										*	試験結果の打点数等	等が少なくば	らつきの	判断ができない場	合は評価対象項目		
										, • .	(評価値) だけで記			130000 4 C 0000 000	H 13-141 IM/3/3/7/1		
											(#1    Kall	11 Jan / 00		1	Í		
	植栽工事		_	D FERRIC O SAFACE	- 田 のいばと ニ ナ 1. 35万	r 41.45万口の屋行		1. A Mat Mat ユーフ	となるでは、後か	177 \				口口師	・ 間  に  の  削  中  七  十  寸	□ 品質関係の測定	L->+-
	他秋上争				果のばらつきと評価				<判断基準参	照 >					関係の側足力伝入	コ 前貫関係の側を 又は測定値が不済	
					工事施工管理基準、	その他設計凶書(	こ定められた試験	€]							たため、監督職員	であったため、	
					新は別紙-7参照。										で指示を行い改	職員が修補指示	を
				評価対象項目										善き	わた。	行った。	
			_		るよう管理している		-										
				□ 樹木などに損	傷、はちくずれ等が	無いよう保護養質	生を行っているこ	とが確認でき	る。								
				□ 樹木等の生育	「に害のある害虫等か	らいないことが確	認できる。			1	当該「評定対象項	目」のうち、:	対象とし	ない項目は削除す	る。		İ
				□ 施工完了後、	余剰枝の剪定、整形	その他必要な手	入れを行っている	ことが確認で	きる。	2	削除項目のある場合	合は削除後の	評定項目	数を母数として計	算した比率(%)言	†算の値で評価する。	
				□ 肥料が直接権	木の根に触れないよ	こう均一に施肥し	ていることが確	認できる。		3	評価値 ( #D	IV/0! %)	= 評価	<b>五数 (0)</b>	/ 対象評価項	[目数( 0 )	1
				□ 植生する樹木	に応じて、余裕のあ	っる植穴を堀り植	「穴底部を耕して	いることが確認	!で	4	なお、削除後の評価	西対象項目数	が2項目	以下の場合は、C	評価とする。		1
				きる。						*							
				□ 添木をぐらつ	きがないよう設置し	ていることが確	認できる。			•	判断基準			•	'		
				□ 樹名板を視認	しやすい場所に据付	†けていることが	確認できる。						V	ばらつきで判断可	能	ばらつきで	
				□ その他	r				٦			50%	以下	80%以下	80%を超える	判断不可能	
				_ (	理由:						90%以上		3	a'	h	h	
					_ <del>_</del>					評	75%以上90%未済			b	b'	b'	
										価	60%以上75%未濟		)	b'	С	c	
										値							
											60%未満	b		C	C C	С	
										*	試験結果の打点数等		らつきの	判断ができない場	合は評価対象項目		
											(評価値) だけで記	評価する。		i	ı		
			1														
			1														
			1											1			
			1											1			
			1														
	1		1														

別紙 — 3 ⑪ 〔記入方法〕 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

[記入方法] 1. 該当	当する項目の□に「レ」	<u>マークを</u> 記	入する。											(検査員)
3. 出来形及び	防護柵(網)・標		а		a'		b		b'		С		d	е
出来ばえ	識・区画線等設置工 車	□ 品質問	関係の試験結果の	のばらつきと評価対	†象項目の履行‡	犬況(評価値)か	ら判断する。<	判断基準参照>						□ 品質関係の測定方法
	T			「施工管理基準、その	の他設計図書に	定められた試験]							測定値が不適切で ったため、監督職員	又は測定値が不適切 であったため、検査
Ⅱ. 品質			らつきの判断は	t別紙-7参照。								が	文書で指示を行い改	職員が修補指示を
		● 評価が	* . *									善	された。	行った。
				、視線誘導標設置基準					-					
		_		りの仕上がり面にお										
				工の施工にあたって					きる。					
			11041111 4 2 1 1-1-	の施工にあたって、	, =1, -1, , -1,			が確認できる。						
				ついて地盤の地耐力										
				根入長が、設計図書				7 0 1104-27 - 1	~					
		_		を支柱に取付ける場					-	1 × 10 to ⇒41				
				の端末支柱を土中に	- 設直する場合、	打設したコング	リートが設計図	書に正められた強!	度以上であること	70.40年記				
			できる。 ペイン L 士 (労)E	(式)区画線に使用す	マンナーの休田島	<b>ま</b> ぶ 100/以下	っった ファ L バか	切づキフ						
		_		LK/区画線に使用り 見本等で設計図書の				応じさる。						
				兄本寺で設計図書の 昼間及び夜間の視認				切づきる						
				昼間及び役間の税齢 あたって 設置路面(					りでキス					
				場合、表示材(塗料						ζ.				
				勿日、叔小何(室暦 工にあたって、路面				1.15 C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	ここ 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	, o				
				、設計図書の仕様を										
				WHI DI O LINE			0	٦						
			12	!由:										
			L -=											
								1	当該「評定対象項	頁目」のうち、対	象としない項	目は削除	する。	
								2	削除項目のある場	場合は削除後の評	定項目数を母	数として	計算した比率(%)ま	+算の値で評価する。
								3	評価値 ( ‡	#DIV/0! %) =	= 評価数	( 0 )	/ 対象評価項	[目数( 0 )
								4	なお、削除後の評	平価対象項目数が	2項目以下の	昜合は、	C評価とする。	
								_	判断基準		170	e Mai Mari =	-r Ala	170 2 - 4
										500/101		で判断す		ばらつきで
									000/1211.	50%以	r 80	%以下	80%を超える	判断不可能
								評 ·	90%以上	a ,		a'	b	b
								価	75%以上90%未			b b'	b'	b'
								値.	60%以上75%未 60%未満	rim b'			c	C -
											o ≠ o Nai Nac x≥	C = +11.	c 場合は評価対象項目	С
								*	試験結果の打点第 (評価値)だけて		つさの判断が	じさない	場合は評価対象項目	
									(評1回1旦) たり(	で評価する。		1	İ	

(検査員)

別紙 — 3 ⑫ [記入方法] 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

考査項目	工種		a		a'		b			b'		c			d		e
3. 出来形及び	電線共同溝工事	П	品質関係の試験結果				から判断する。	<判断基準参り	召>						質関係の測定方法	マロ	品質関係の測定方法
出来ばえ		1	[関連基準、土木工					. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,							測定値が不適切で		又は測定値が不適切
			※ ばらつきの判断												ったため、監督職 文書で指示を行い		であったため、検査 職員が修補指示を
			評価対象項目												文音で指示を刊り された。		戦員が修備指示を 行った。
			□ 指定材料の規格	各が、品質を証明で	する書類で確認で	きる。											
			□ 管路の通過試験				ることが確認で	きる。									
			□ プラント出荷剛						いること	が確認できる。							
			□ 特殊部の施工基														
			□ 特殊部等の施□							-	きる。						
			□ 埋戻しにおいて					, 01 ) ,2184									
			□ 舗装の復旧等が				-	が確認できる。									
		_	□ 管枕及び埋設:														
			□ 管設置においる														
			□ その他 г					ר ד									
			·	理由:													
			L														
									① ≝	当該「評定対象」	項目」の	うち、対象と	しない項目	は削除す	する。		
									② 肖	削除項目のある場	場合は削	除後の評定項	目数を母数	として記	計算した比率(%	計算の	値で評価する。
														,	/ 対象評価	西項目数	( 0 )
									4 t <sub>d</sub>	なお、削除後の記	評価対象	項目数が2項	目以下の場	合は、(	C評価とする。		
									● ¥	判断基準					- 41		
													ばらつき				<b>こ</b> らつきで
									-	000/1011		50%以下		以下	80%を超える	) 判	断不可能
									評	90%以上	1. 346	a	8		b		b
									価 —	75%以上90%表		a'		b	b'	_	b'
									值	60%以上75%表	木満	b		,	С	_	С
									\•/ ¬	60%未満	M. 666 1 V 1	b'		C	C C		С
													の判断かで	さない	場合は評価対象項	Ħ	
										(評価値) だけ~	で評価す	<b>ీ</b>				ı	

別紙 - 3 (3) [記入方法] 1. 該当する項目の口に「レ」マークを記入する。 (給杏昌)

(10/0/12) 1. 12	I ) SATOTICE . F ]	 / E HL/ ( / D)										(水血丸/
考査項目	工種	a		a'		b		b'		c	d	□ e
<ol> <li>出来形及び 出来ばえ</li> <li>Ⅱ. 品質</li> </ol>	維持工事(清持工事) (清持工、除立、 ) (清持工、除立、 ) (清持工、 ) (清持工、 ) (清持工、 ) (注) (一) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注) (注	評価対象項目   使用する材料の品	をよく把握して、 はです。 はないで、迅速が はないで、迅速が はないで、 はないでで、 はないで、 はないで、 はないで、 はないで、 はないでで、 はないでで、 はないでで、 はないでで、 はないでで、 はないでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	で、適切な対策を 現地状況を勘案し いつ適切に対応して ・・・・ a ・・・・ b ・・・・ b	施していること、施工方法や様いることが確認	が確認できる。 <b>達造についての提</b> なできる。	案を行うなど積		- 0		品質関係の測定方法で大法では関連をあった。場では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	□ 品質関係の測定方法 又は測でを 出質関係の値が不 適切を に が に に が に に が に に が に に が に に が に に が に た が に た が に た が に た が 、 で も っ が に た が 、 で も に も の に も の に も の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に に に に に に 。 に に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。
	修繕工事 (橋脚補強、耐震補 強、落橋防止等)	a 神価対象項目   使用する材料の品では、	をよく把握して、 で項に対して、 でスに対する 以上 以下 類の評価対象	で、適切な対策を 現地状況を勘案し 6提言や修繕サイク ・・・・ a ・・・・ b ・・・・ b	施していること、施工方法や権	が確認できる。 構造についての提 提案等を行って	案を行うなど積れいることが確認	極的に取り組んでい		С	d 品質関係の測定方法又 は測定値が不監督で あったもめ、大書で指示を行い改善された。	□ 日 日 日 日 田 田 関 関 明 の が に も あった で で あった。

別紙 — 3 ⑭ [記入方法] 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

考査項目	工種		a	a'		b		b'		С		d		e
3. 出来形及び	機械設備工事		優れている	□ bより優れている		やや優れている		やや優れている		他の評価に該当しない		品質関係の測定方法又		品質関係の測定方法
出来ばえ		<ul><li>● 評価対象</li></ul>	項目								┪ ̄	は測定値が不適切で		又は測定値が不適切
				)書類(現物照合)を整理し品質	「の確認が	できる						あったため、監督職員		であったため、検査
Ⅱ. 品質				承諾図書のとおり確保され、品								が文書で指示を行い改善された。		職員が修補指示を 行った。
п. шд				木品凶量のとおり確休され、     た詳細設計を行い、承諾図書と			<b>バキ</b> ス					古 C 4 い C。		11.510
				『わる成績書が整理され、品質の			C 200							
				項目について、品質管理書類を										
				関項目について、品質管理書類を ##なる。 なめまごにぶる##®			/\ la =	ナレフェ L 1776年ニーナ	7					
				操作スイッチや表示灯が承諾図					<b>る</b> 。					
				程及び保護装置の機能・性能確認 にいる 2世 日本 これにおいて			里し品質(	ク唯認か ぐさる。						
				が承諾図書のとおり敷設してい	いることが	確認できる。								
				していることが確認できる。		2. 2 . 2	6.77 a b 1	_						
				に部品等の点検及び交換方法に		まとめていることが6	催認でき,	5.						
				-いよう工夫していることが確認										
		15 - 0114		置が、交換頻度の高い部品等の交										
		□ □ 二次コンクリートの配合試験及び試験練りを実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。												
				:示すラベルなどが見やすい状態			きる。			● 判断基準	隼			
				5囲を見やすく表示していること								目が90%以上		•••• a
				€箇所に表示又は防護をしている						※ 該	当項目	目が80%以上90%未満		···· a'
				把握して、適切な対策を施して						※ 該	当項目	目が70%以上80%未満		b
				二方法等についての提案を行うな	よど積極的	に取り組んでいるこ	こが確認で	できる。		※ 該	当項目	目が60%以上70%未満		b'
		□ □ その	他「			-				※ 該	当項目	目が60%未満		· · · · c
			理由:								<u>.l</u>		<u> </u>	
										のうち、対象としない項目		· · · · · ·		
		② 削除項目のある場合は削除後の評定項目数を母数として計												
										(0!%) = 評価数 (		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	頁目数	( 0 )
								<ul><li>④ なお、削除後の</li></ul>	評価対	<b> </b>	易合は	は、C評価とする。	т	j
							1							
	電気設備工事		a	a'		b		b'		c		d		e
			優れている	□ bより優れている		やや優れている		やや優れている		他の評価に該当しない		品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で		品質関係の測定方法 又は測定値が不適切
		● 評価対象										あったため、監督職員		であったため、検査
				E能の確保に係る技術検討を実施								が文書で指示を行い改		職員が修補指示を
		□ □ 材料	・部品の品質照合の	)結果が品質保証書等(現物照合	きを含む)	で確認でき、設計図	톨の仕様₹	を満足していることが	確認で	·きる。		善された。		行った。
		□□機器	の品質、機能及び性	<b>E能が設計図書を満足して、成績</b>	貴書にまと	められていることが	在認できた	5.						
		□ □ 操作	スイッチや表示灯が	「承諾図書のとおり配置され、操	操作性に優	れていることが確認。	できる。							
		□ □ ケー	ブル及び配管の接続	長などの作業が、施工計画書に記	己載された	手順に沿って行われ、	不具合?	が無いことが確認でき	る。					
		□□設備	iの機能及び性能が、	設計図書の仕様を満足している	うことが確	認できる。								
		□ □ 操作	制御関係の機能及び	『性能が、設計図書の仕様を満足	呈している	とともに、必要な安全	<b>È装置及</b> (	び保護装置の作動が確	認でき	る。				
		□□□設備	iの総合性能が、設計	├図書の仕様を満足していること	が確認で	きる。				● 判断基準	售			
		□□現場	条件によって機器(	製品)の機能及び性能が確認でき	ない場合	において、工場試験に	よどで確認	図していることが確認	できる	。 ※ 該	当項目	目が90%以上		•••• a
		□ □ 設備	i全体についての取扱	ぬ説明書を工夫し作成(修繕(改	と 世・更新	含む) の場合は、修	E又は更新	新) していることが確	認でき	る。 ※ 該	当項目	目が80%以上90%未満		· · · · a '
		□ □ 完成	図書で定期的な点検	や交換を要する部品及び箇所を	明示して	いることが確認できる	5.			※ 該	当項目	目が70%以上80%未満		b
		□□□設備	iの構造において、点	(検や消耗品の取替え作業が容易	易にできる	よう工夫しているこ	ごが確認っ	できる。		※ 該	当項目	目が60%以上70%未満		b'
		□□その	) 他 г			-				※ 該	当項目	目が60%未満		· · · · c
			理由:								1			
			-					<ul><li>① 当該「評定対象</li></ul>	項目」	のうち、対象としない項目	は削	除する。	····	
								② 削除項目のある	場合に	は削除後の評定項目数を母数	女とし	て計算した比率(%)言	計算の	)値で評価する。
	1							③ 評価値 (	#DIV/	/0! %) = 評価数 (	0	) / 対象評価項	頁目数	( 0 )
								<ul><li>④ なお、削除後の</li></ul>	評価対	<b> </b>	易合は	は、C評価とする。		

### 別紙-3億

〔記入方法〕 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

工 種 b 通信設備工事・受変 bより優れている やや優れている やや優れている 他の評価に該当しない 品質関係の測定方法又 □ 品質関係の測定方法 優れている 3. 出来形及び 電設備工事 は測定値が不適切で 又は測定値が不適切 出来ばえ ● 評価対象項目 あったため、監督職員 であったため、検査 □ □ 設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認できる。 が文書で指示を行い改 職員が修補指示を Ⅱ. 品質 □ 材料及び構成部品の品質及び形状について、設計図書等と適合が確認できる証明書等を整備していることが確認できる。 行った。 善された。 □ 材料の品質照合の結果が、品質保証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ 設備、機器の品質、機能及び性能が、成績等で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 □ □ ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 □ □ 設備全体としての運転性能が所定の能力を満足していることが確認できる。 □ 完成図書において、設備の機能並びに性能及び操作方法が容易に判別できる資料を整備していることが確認できる。 □ 完成図書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料を整備していることが確認できる。 □ □ 設備全体及び各機器において、設計図書に規定した品質及び性能を工場試験記録により確認できる。 □ □ 設備全体についての取扱説明書を工夫していることが確認できる。 □ □ 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 □ 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 □ □ その他 理由: ① 当該「評定対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ● 判断基準 ※ 該当項目が90%以上 ② 削除項目のある場合は削除後の評定項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 . . . . a ③ 評価値 ( #DIV/0! %) = 評価数 ( 0 ) / 対象評価項目数( 0 ) ※ 該当項目が80%以上90%未満 ... b ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。 ※ 該当項目が70%以上80%未満 ... b ※ 該当項目が60%以上70%未満 ※ 該当項目が60%未満 · · · · c

[記入方法] 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。 (検査員) 工 種 地すべり防止工事 □ 品質関係の測定方法又 □ 品質関係の測定方法 3. 出来形及び □ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> は測定値が不適切で マは測定値が不適切 出来ばえ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] あったため、監督職員 であったため、検査 ※ ばらつきの判断は別紙-7参照。 が文書で指示を行い改 職員が修補指示を Ⅱ. 品質 ● 評価対象項目 善された。 行った。 【共通】 □ □ コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、 アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 □ □ コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 □ 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 □ 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた 条件を満足していることが確認できる。 (寒中及び暑中コンクリート等を含む) □ □ コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っている。 □ 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 □ 鉄筋及び鋼材の品質が、証明書類で確認できる。 □ □ その他 理由: 【地すべり防止工事(抑止アンカー工事(グランドアンカー、ロックボルト))】 □ □ アンカー施工長さが全本数確認できる。 □ □ アンカー施工角度が適正であることが確認できる。 □ 削孔内のスライム処理が適切に行われていることが確認できる。 □ 注入材の充填が適切であり、引張力試験値からも確認できる。 □ 頭部処理(定着金具、キャップへの防錆グリスの充填、防水処理等)が適切に行われていることが確認できる。 □ 設計図書や本工法に関する設計、施工指針に基づき、定められた施工手順により行われていることが確認できる。 □ アンカー材や注入原材料の保管管理が適正であることが確認できる。 □ 受圧板が適正に施工されていることが確認できる。 ① 当該「評定対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 □ □ その他 ② 削除項目のある場合は削除後の評定項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 ( #DIV/0! %) = 評価数 ( 0 ) / 対象評価項目数( 0 ) 理由: ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。 【地すべり防止工事(暗渠排水工事)】 □ 基礎部が凸凹蛇行のないように施工されている。 ● 判断基準 □ 地盤面に不陸が生じていないことが確認できる。 ばらつきで判断可能 ばらつきで □ 暗渠管の接続が適切に施工されていることが確認できる。 50%以下 80%以下 80%を超える 判断不可能 90%以上 □ 栗石が均一に詰め込まれていることが確認できる。埋め戻しは締め固め地山の b а b すり付けに配慮し施工されている。 75%以上90%未満 b b' b' 価 □ 埋め戻しは締め固め地山のすり付けに配慮し施工されている。 60%以上75%未満 b C С □ □ その他 60%未満 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目 理由: (評価値) だけで評価する。 【地すべり防止工事(集水ボーリング)】 □ □ ボーリングの掘削位置、配列、方向、仰角、深度等は設計図書に基づき適正に施工された。 □ ボーリング孔からの排水処理は適切に行われており、再浸透が防止されている。 □ 堀削機械に応じた適切な足場が設置されたことが確認できる。 □ ボーリングの孔口は施工に先立ち法面を整備し土砂崩壊が起きないように施工された。 □ 保孔管のストレーナー加工は設計図書に基づき適正に施工されたことが確認できる。 □ □ その他 □ クラックがある場合、進行性又は有害なクラックが無く、発生したクラックに対しては 理由: 有識者等の意見に基づく処置を行っている。 ※ 別紙-7を参照

上記該当があれば ・・・・ c

別紙 — 3 ⑪ 「記 ス 方注) 1 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

[記八万伝] 1. 該日	19 る項目の口に「レ」	マークを記入する。						(使宜貝
考査項目	工 種	□ a □ a' □ b □		b' 🗆	c		d	е е
3. 出来形及び	管(函)路工事	□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準	参照>					□ 品質関係の測定方法
出来ばえ	<ul><li>(下水道工事) シールド工事 ・推進工</li></ul>	[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]					は測定値が不適切で	又は測定値が不適切
	エー・ 単連工	※ ばらつきの判断は別紙-7参照。					あったため、監督職員 が文書で指示を行い改	であったため、検査 職員が修補指示を
Ⅱ. 品質	7	● 評価対象項目					善された。	行った。
		【共通】						-
		□ □ マンホールブロックは、内面が一致し垂直に据付けられていることが確認できる。						
		□ □ マンホールブロックの接合部が水密に仕上げられていることが確認できる。						
		□ □ マンホール・桝等の仕上がり天端高が適正である。						
		□ □ 桝の据付けは、垂直に、かつ水密に仕上げられていることが確認できる。						
		□ □ インバートは形状、勾配等適性に施工されている。						
		□ □ 足掛金物が確実に設置されている。						
		【開削工事】						
		□ 使用材料の品質規格証明が整備されている。						
		□ □ 使用材料が適正に保管管理されている。						
		□ □ 施工条件に適した方法で作業が行われている。						
		□ □ 施工基面が平滑に仕上げられている。						
		□ □ 施工基面が平角には上りられている。						
		□ □ 管 (函) 路は、方向・勾配等が適切であり、不陸・偏心等のないことが確認できる。						
		□ □ 管布設状況の記録がなされ、整理されている。						
		□ □ 管の下端,側部の締固めが均等に実施されている。						
		□ □ 付属構造物にきめ細かな施工がうかがえる。						
		□ □ その他( )						
		【推進工事・シールド工事】						
		□ 使用材料の品質証明書等により設計図書で規定した品質を満足していることが確認できる。						
		□ 使用材料の品質規格証明が整備されている。						
		□ □ シールド掘進機は、設計図書に規定した品質·規格を満足していることが確認できる。						
		□ 推進力について管理を行い、予定以上の負荷をかけていないことが確認できる。						
		□ □ 日々計測・管理を行っており、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。						
		□ □ セグメントや推進管等が損傷しないよう配慮されていることが確認できる。						
		□ □ 接合部が適切に施工されていることが確認できる。						
		□ □ 管 (函) 路は,法線・勾配等が確保されていることが確認できる。						
		□ ■ 裏込め材等の注入が適切に施工されていることが記録から確認できる。						
		□ □ コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量を確認できる。						
		□ 構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いて強度確認を行っている。	1	当該「評定対象項目」	のうち、対象とし	<sub>レ</sub> ない項目は削	除する。	
		□ □ 作泥注入が適切に施工されていることが記録から確認できる。	2	削除項目のある場合は	削除後の評定項目	目数を母数とし	て計算した比率(%) ま	計算の値で評価する。
		□ □ 付属構造物にきめ細かな施工がうかがえる。	3 1	平価値 ( #DIV/	0! %) = 評	価数 ( 0	) / 対象評価項	頁目数( 0 )
		□ □ その他 □ 理由:	4 7	なお、削除後の評価対	象項目数が2項目	目以下の場合は	、C評価とする。	
			● ¥	判断基準				
						ばらつきで判	<b>新可能</b>	ばらつきで 判
					50%以下	80%以下	80%を超える	断不可能
			300	90%以上	а	a'	b	b
			評価	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
			値	60%以上75%未満	b	b'	С	С
			lier	60%未満	b'	c	С	С
			* 1	式験結果の打点数等が	少なくばらつきの	り判断ができな	い場合は評価対象項目	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
				(評価値) だけで評価	する。			

1. M = / 0 X = 0 = (C	. / 2 111/1/08										(水血丸/
管 (函) 路工事	□ a □	a' 🔲	b		b'		c		d	□ e	
(上水道工事)	□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対	対象項目の履行状況(評価値)か	ら判断する。 <	判断基準参照	>				質関係の測定方法又		
	[関連基準、土木工事施工管理基準、そ	の他設計図書に定められた試験]							制定値が不適切で	又は測定値	
	※ ばらつきの判断は別紙-7参照。								ったため、監督職員 と書で指示を行い改	であったたる職員が修補	
	● 評価対象項目								された。	行った。	111/1, 5
	□ □ 使用材料の品質規格証明が整備され	いている。									
	□ □ 使用材料の管理・取扱が適切に行っ	っていることが確認できる。									
	□ □ 接合が適切に行われていることが確										
	□ □ 施工基面が平滑に仕上げられている										
	□ □ 管などの下端,側部の締固めが均等										
	<ul><li>□ □ 埋設シートが適切な位置に敷設される</li></ul>	· · ·									
	□ □ 通水試験の状況が写真等で確認でき	-		ſ	① 当該「	評定対象項目  (	のうち、対象とし	ない項目は削除す	- る。	L	]
	<ul><li>□ □ 付属構造物にきめ細かな施工がうか</li></ul>	· ·		1	0	· · · · · · · -			・算した比率 (%) i	計算の値で評価す	- る。
	□ □ 継手チェックシートにより、管接合	-		1					/ 対象評価項		- 1
	□ □ 管の切断・加工が適切に行われてい						, . ,	以下の場合は、C		,	
	□ □ 埋戻工が適切に行われている。	<u> </u>		i.	© 51.11- V	1747-124 - 171   1847-17-1	37.7.1.200 = 27.1.		7 July 2 / 20	I	
	□ □ 占用位置が適切であることが確認で	できろ			● 判断基	淮		I		I	
	□□その他「		٦	Г	■ [1]F12E		ı	ばらつきで判断可	台	ばらつきで	7
	理由					ŀ	50%以下	80%以下	80%を超える	判断不可能	
	- 经出			F		90%以上	a	a'	b	b	
					評 75%	以上90%未満	a'	b	b'	b'	
					仙	以上75%未満	b	b'	c	c	
					100	60%未満	b'	c	c	c	
				L.					合は評価対象項目		_
				<i>'</i>		i値)だけで評価 <sup>*</sup>		111414 ( C - & * - 30)	7日18日間八永天日		
					(11)	1個/ 7年/ 八田 四	7 .00	ĺ		İ	
さく井工事	a 🗆	a' 🔲	b	П	b'		c	П	d	□ е	
. \// 1.7	□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価x					<u> </u> ⊔			質関係の測定方法又		測定方法
	[関連基準、土木工事施工管理基準、そ		9 (1411)	(14612245 7/1/2				は測	側定値が不適切で	又は測定値だ	が不適切
	※ ばらつきの判断は別紙-7参照。	· / IEIX II II II II II II II II II II II II I							ったため、監督職員	であったたと	
	● 評価対象項目								て書で指示を行い改 された。	職員が修補打 行った。	指不ど
	□ □ 工事に先立ち地下水に対する地盤調	調査等の分析が入念になされてい	<b>る</b> .						_ 4 0 7 = 0	11 > 100	
	□ □ 掘削記録及び電気検層結果等が適切		20								
	□ □ 揚水試験が仕様書どおり適切に実施										
	□ □ 孔内の仕上げが仕様書どおり適切に										
	□ 堀削中の孔壁保護が入念に施工され										
	□ □ フィルター材、埋め戻し等が入念に	_		Γ	<ol> <li>当該「</li> </ol>	評定対象項目  (	のうち、対象とし	ない項目は削除す	·る。	L	·····
	□ □ ケーシング等挿入、接合作業等が過	-							・ ・算した比率 (%) i	計算の値で評価す	⁻る。
	□□ その他 「			1	_				/ 対象評価項		•
	理由:						, . ,	以下の場合は、C		,	
	[ · <u>zm ·</u>				<b>``</b>					T	i
					● 判断基	準		ı		ı	
				Г	2 (19140	· ·	ı	ばらつきで判断可	能	ばらつきで	7
						ŀ	50%以下	80%以下	80%を超える	判断不可能	
				F		90%以上	a	a'	b	р	┪
					評 75%	以上90%未満	a'	b	b'	b'	┪
					価	以上75%未満	b	b'	c	c	-
					IE	60%未満	b'	c	c	c	$\dashv$
				_				_	 合は評価対象項目		_
				,		「未の打点数寺か」 i値)だけで評価。		エコガール くら は 1、2	7日は計画別参集日		
					(計1四	川直) たり て評価	りる。	1		I	
										1	

〔記入方法〕1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。 (検査員) 工 種 С グランド・コート舗 □ 品質関係の測定方法又 □ 品質関係の測定方法 □ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 3. 出来形及び は測定値が不適切で 又は測定値が不適切 出来ばえ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] (野球場・グランド・芝 あったため、監督職員 であったため、検査 ※ ばらつきの判断は別紙-7参照。 舗装・テニスコート が文書で指示を行い改 職員が修補指示を Ⅱ. 品質 等) ● 評価対象項目 善された。 行った。 □ 施工に先立ち、CBR値測定、プルフローリング等を行い、支持地盤(路床)の確認を行っている。 □ 材料の品質証明が適切で、保管状態が良い。 □ □ 混合土、床土の配合試験(土壌試験)が行われており、品質の規格(粒度、含水比、透水係数、硬度、土壌改良材等)が確認できる。 □ 植生(芝)の種類、品質、施工後の養生が適切である。 ① 当該「評定対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 □ □ その他 ② 削除項目のある場合は削除後の評定項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 ( #DIV/0! %) = 評価数 ( 0 ) / 対象評価項目数( 0 ) 理由: ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。 ● 判断基準 ばらつきで判断可能 ばらつきで 50%以下 80%以下 80%を超える 判断不可能 90%以上 b b 75%以上90%未満 b' 価 60%以上75%未満 b b' С С 60%未満 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで評価する。 防球ネット工事 a' С □ 品質関係の測定方法又 □ 品質関係の測定方法 □ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> は測定値が不適切で 又は測定値が不適切 「関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] あったため、監督職員 であったため、検査 ※ ばらつきの判断は別紙-7参照。 が文書で指示を行い改 職員が修補指示を ● 評価対象項目 善された。 行った。 □ 品質管理方法が明確で、正確な施工方法が伺える。 □ 材料の品質証明が適正であることが確認できる。 □ 主柱および支柱の配置、根入、根枷位置、建柱角度等が適切に施工されていることが確認できる。 □ 主ワイヤーおよび補助ワイヤー等の設置(張具合、取付金具等)が適切に施工されていることが確認できる。 □ ネットの張高、継目(重ね処理等)、張具合等が適切である。 □ □ その他 ① 当該「評定対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 理由: ② 削除項目のある場合は削除後の評定項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 ( #DIV/0! %) = 評価数 ( 0 ) / 対象評価項目数( 0 ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。 ● 判断基準 ばらつきで判断可能 ばらつきで 50%以下 80%以下 80%を超える 判断不可能 90%以上 а a' b b 75%以上90%未満 b' 60%以上75%未満 b' С С 60%未満 b' С С ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで評価する。

(検査員)

〔記入方法〕1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。 工 種 С 木柵工事 □ 品質関係の測定方法又 □ 品質関係の測定方法 3. 出来形及び □ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> は測定値が不適切で 又は測定値が不適切 出来ばえ [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] あったため、監督職員 であったため、検査 ※ ばらつきの判断は別紙-7参照。 が文書で指示を行い改 職員が修補指示を Ⅱ. 品質 ● 評価対象項目 善された。 行った。 □ 有害な割れ傷等がない。 □ 継ぎ手部の処理が適切である。 □ 防腐剤処理や材料の寸法等が証明書等で確認できる。 □ □ 根入れ部の処理が適切である。 □ □ その他 当該「評定対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 理由: ② 削除項目のある場合は削除後の評定項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値 ( #DIV/0! %) = 評価数 ( 0 ) / 対象評価項目数( 0 ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。 ● 判断基準 ばらつきで判断可能 ばらつきで 50%以下 80%以下 80%を超える 判断不可能 90%以上 а b b 75%以上90%未満 b' b' 価 60%以上75%未満 b b' С С 60%未満 ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで評価する。 鋼橋補修工事 (炭素繊維シートエ □ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況 (評価値) から判断する。<判断基準参照> □ 品質関係の測定方法又 □ 品質関係の測定方法 は測定値が不適切で 又は測定値が不適切 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] であったため、検査 あったため、監督職員 ※ ばらつきの判断は別紙-7参照。 職員が修補指示を が文書で指示を行い改 ● 評価対象項目 善された。 行った。 □ 品質管理方法が明確で、正確な施工方法が伺える。 □ 材料の品質証明が適正であることが確認できる。 □ □ ひび割れ補修(注入等)が適正におこなわれている事が確認できる。 □ □ 下地処理が適正に行われていることが確認できる。 □ 工法の手順通り、各段階の施工が適正に行われている。 ① 当該「評定対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評定項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 □ 接着剤等の空缶管理が、写真で確実に空であることが確認できる。 □ □ その他 ③ 評価値 ( #DIV/0! %) = 評価数 ( 0 ) / 対象評価項目数( 0 ) ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。 理由: ● 判断基準 ばらつきで判断可能 ばらつきで 50%以下 80%以下 80%を超える 判断不可能 90%以上 75%以上90%未満 b' a' b 60%以上75%未満 b b' С С 60%未満 b' С ※ 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで評価する。

別紙 - 3 ② 「記入方法」 1 該当する項目の口に「レーマークを記入する

[記入力法] 1. 該	当する項目の口に「レ」	マークを記入する。						(使	盆貝)	
考査項目	工種	a a b a	b'		c		d	е		
3. 出来形及び	浚渫・河道掘削工事	□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準	参照>					□ 品質関係の測定		
出来ばえ		[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]					制定値が不適切で ったため、監督職員	又は測定値が7 であったため、		
		※ ばらつきの判断は別紙-7参照。					て書で指示を行い改			
Ⅱ. 品質		● 評価対象項目					<b>られた。</b>	行った。	_	
		□ □ 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。								
		□ □ 材料の品質及び形状が設計図書等との適切性確認ができ証明書が整備されている。	① 当該「許	平定対象項目」(	のうち、対象とし	ない項目は削除す	<sup>-</sup> る。	<u> </u>		
		□ □ 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。	② 削除項目	目のある場合は	削除後の評定項目	数を母数として計	算した比率(%)	計算の値で評価する。	,	
		□ □ 浚渫、掘削工の施工上の注意事項(仕様書等による)が守られている。	③ 評価値	( #DIV/0	! %) = 評価	f数 ( 0 )	/ 対象評価項	頁目数( 0 )		
		□ □ 浮泥を巻き込まないよう工夫していることが確認できる。	<ul><li>④ なお、肖</li></ul>	削除後の評価対象	象項目数が2項目	以下の場合は、C	評価とする。		į	
		□ 水質汚染対策を配慮した施工を行っている。	\ <del></del>			<u> </u>		[		
		□ 雨水による土壌汚染が拡大しないように、作業手順及び排水対策等を適切に実施している。								
		□ 規定された掘削深度が確保されており、掘削面下を乱さないように施工している。								
		□ 土壌の運搬が適切であり、運搬管理も良好である。	● 判断基準	售		l		ļ		
		□	1,1,1,1		ľ	ばらつきで判断可	能	ばらつきで		
		□ は面に有害な損傷部が無い。			50%以下	80%以下	80%を超える	判断不可能		
		□ □ 廃棄物、投棄物等の処理を適切に行っている。	90	0%以上	a	a'	b	b		
		□ □ 付属工の施工上の注意事項(仕様書等による)が守られている。	75%以	以上90%未満	a'	b	b'	b'		
		□ □ その他 「	価 60%以	以上75%未満	b	b'	c	С		
		理由:	III.	0%未満	b'	c	c	c		
		[ · <u>·</u>				型無ができたい提	合は評価対象項目	_		
	工種	□ a □ a' □ b □	b'		c		d	□ e		
	コンクリート二次製	□ 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準				□ 品質		□ 品質関係の測定	7方法	
	品工事	[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]	- > ////			は測	削定値が不適切で	又は測定値が不	適切	
		※ ばらつきの判断は別紙-7参照。					ったため、監督職員	であったため、 職員が修補指示		
		● 評価対象項目					て書で指示を行い改 された。	順貝が修備指列 行った。	18	
		□ □ 仕様書等で定められている品質管理が実施されている。					- 407-0	13 > 10		
		□ 材料の品質規定証明書が整備されている。	① 当該「評定対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。							
		□ 応工基面が平滑に仕上げられている。	② 削除項目のある場合は削除後の評定項目数を母数として計算した比率(%) 計算の値で評価する。							
		□ □ 法面のとおりがよい。	③ 評価値 ( #DIV/0! %) = 評価数 ( 0 ) / 対象評価項目数( 0 )							
		□ □ 仕様書等で示す条件により締め固めが実施されている。	④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。							
		□ □ 護岸等の根入れが図面どおり実施されていることが確認できる。	<u> </u>		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
		□ □ コンクリート構造物にきめ細かな施工がうかがえる。				Ļ		ı		
		□ □ 二次製品の吊り込み、据付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。	● 判断基準							
		□ □ 継ぎ目処理が適切に施工されている。			ľ	ばらつきで判断可	能	ばらつきで		
		□ □ 集水桝等の埋設深さ管理が適切に施工されている。		Ī	50%以下	80%以下	80%を超える	判断不可能		
		□ □ 側構及び管路の接続が適切に施工されている。	90	0%以上	a	a'	b	ь		
		□ □ 溝底部が凹凸,蛇行のないよう施工されている。	評 75%以	人上90%未満	a'	b	b'	b'		
		□ □ その他 「	価 60%以	人上75%未満	b	b'	С	С		
		理由:		0%未満	b'	c	С	С		
			※ 試験結果	果の打点数等が/	少なくばらつきの	判断ができない場	- 場合は評価対象項目			
				<ul><li>i) だけで評価</li></ul>		11010 00 00 00	, a ton man so X a			
			(HI IIII IE	_, , < н і іш	0					

## 別紙-32

〔記入方法〕1. 該	当する項目の□に「レ」	マークを	己入する。						(検査員)
考査項目	工 種	<a></a>	а	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形及び	上記以外の工事	\A>			1 =	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	<ul><li>□ 品質関係の測定方法又 は測定値が不適切で</li></ul>	<ul><li>□ 品質関係の測定方法 又は測定値が不適切</li></ul>
出来ばえ		(D)	□ 品質関係の試験結果のばら			断基準参照>		あったため、監督職員	であったため、検査
Ⅱ. 品質		<b></b>	<ul><li>【関連基準、土木工事施工管</li><li>※ ばらつきの判断は別紙ー</li></ul>	理基準、その他設計図書に定る 7.25円	りられた試験」			が文書で指示を行い改 善された。	職員が修補指示を 行った。
11. 四貝		<ul><li>● 評価</li></ul>	対象項目	7 多思。				普でれた。	110/6
		- H	7734 77						
			理由:						
			700 ala						
			理由:						
			理由:						
			理由:						
		l п п	理由:						
			理由:						
			理由:						
			在四 .						
			理由:						
			<a> 対象工事が、ばらつきによ</a>	る評価が不適切な工事	〈B〉 5	対象工事が、ばらつきによる	評価が適切な工事		
			ex) 取壊し工事			核「評定対象項目」のうち、	44年11175日は期除さ	· 7	<sub>i</sub>
			<ul><li>判断基準</li><li>※ 該当項目が90%以上</li></ul>	a		隊「評定対象項目」のりら、 除項目のある場合は削除後の		-	で評価する。
			<ul><li>※ 該当項目が80%以上90</li></ul>		-	西値 ( #DIV/0! % )			<u> </u>
			※ 該当項目が70%以上80		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	お、削除後の評価対象項目数	ば2項目以下の場合は、C	評価とする。	
			※ 該当項目が60%以上70	)%未満 ・・・・ b ' ・・・・ c		r + 36			
			※ 該当項目が60%未満 なお、削除後の評価対象項目数が	· ·	● 判i	<b>灯</b> 基準	ばらつきで判断可	能	
			STATE OF THE PART OF THE SAME	- XENT N W LION ON IM		50%	6以下 80%以下	80%を超える	
					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		a a'	b	
						7 - 2 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 -	a' b b b'	b'	
						/ /	b b' c	c c	
						\@\ stha	- <u> </u> ~	<u> </u>	
	1								

### 別紙-3 ②

〔記入方法〕1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

考查項目 工 種 優れている やや優れている 他の評価に該当しない 劣っている コンクリート構造物工事 3. 出来形及び ● 判断基準 ● 評価対象項目 砂防構造物工事 出来ばえ □ コンクリート構造物の表面状態が良い。 該当5項目以上・・・・ a □ コンクリート構造物の通りが良い。 該当4項目 ... b Ⅲ. 出来ばえ □ 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 該当3項目 ・・・・ c □ クラックが無い。 該当2項目以下 · · · · d □ 漏水が無い。 □ 全体的な美観が良い。 土工事 ● 評価対象項目 ● 判断基準 (盛土・築堤工事等) □ 仕上げが良い。 該当4項目以上 · · · · a 該当3項目 ... b □ 通りが良い。 □ 天端及び端部の仕上げが良い。 該当2項目 · · · · c □ 構造物へのすりつけなどが良い。 該当1項目以下 ・・・・ d □ 全体的な美観が良い。 切土工事 ● 評価対象項目 ● 判断基準 □ 規定された勾配が確保されている。 該当5項目以上・・・・ a □ 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されているなど、適切に施工されている。 該当 4 項目 ・・・・ b □ 法面勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に施工されている。 該当3項目 該当2項目以下 ・・・・ d □ 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 □ 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 □ 全体的な美観が良い。 護岸・根固・水制工事 ● 評価対象項目 ● 判断基準 ■ 通りが良い。 該当4項目以上・・・・ a □ 材料のかみ合わせがよく、クラックが無い。 該当 3 項目 ・・・・ b □ 天端及び端部の仕上げが良い。 該当2項目 · · · · c □ 既設構造物とのすりつけが良い。 該当1項目以下 ・・・・ d □ 全体的な美観が良い。 鋼橋工事 ● 評価対象項目 ● 判断基準 □ 表面に補修箇所が無い。 該当4項目以上 · · · · a □ 部材表面に傷及び錆が無い。 該当3項目 □ 溶接に均一性がある。 該当2項目 · · · · c □ 塗装に均一性がある。 該当1項目以下 ・・・・ d □ 全体的な美観が良い。 地すべり防止工事 ● 評価対象項目 ● 判断基準 □ 地山との取り合いが良い。 該当3項目以上 · · · · a 該当2項目 ... h □ 天端、端部の仕上げが良い。 □ 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 該当1項目 · · · · c · · · · d □ 全体的な美観が良い。 該当項目なし 舗装工事 ● 評価対象項目 ● 判断基準 □ 舗装の平坦性が良い。 該当5項目以上 · · · · a □ 構造物の通りが良い。 該当4項目 □ 端部処理が良い。 · · · · c 該当3項目 □ 構造物へのすりつけ等が良い。 該当2項目以下 · · · · d □ 雨水処理が良い。 □ 全体的な美観が良い。

### 別紙-3 ②

〔記入方法〕 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

工 種 考查項目 優れている やや優れている 他の評価に該当しない 劣っている 3. 出来形及び 法面工事 ● 判断基準 ● 評価対象項目 出来ばえ □ 通りが良い 該当3項目以上・・・・ a □ 植生、吹付等の状態が均一である。 該当2項目 . . . . b Ⅲ. 出来ばえ □ 端部処理が良い。 該当1項目 · · · · c □ 全体的な美観が良い。 該当項目なし · · · · d 基礎工事 ● 評価対象項目 ● 判断基準 (地盤改良等を含む) □ 土工関係の仕上げが良い。 該当3項目以上 · · · · a ■ 通りが良い。 該当2項目 ... b □ 端部及び天端の仕上げが良い。 該当1項目 · · · · c □ 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 該当項目かし ・・・・ d □ ※地盤改良はc評価とする。 塗装工事 ● 評価対象項目 ● 判断基準 (工場塗装を除く) □ 途装の均一性が良い。 該当4項目以上 ・・・・ a □ 細部まできめ細かな施工がされている。 該当 3 項目 ・・・・ b □ 補修簡所が無い。 該当2項目 □ ケレンの施工状況が良好である。 該当1項目以下 ・・・・ d □ 全体的な美観が良い。 植栽工事 ● 評価対象項目 ● 判断基準 □ 樹木の活着状況が良い。 該当3項目以上・・・・ a □ 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 該当2項目 · · · · b · · · · c □ 支柱の取り付けが堅固である。 該当1項目 □ 全体的な美観が良い。 該当項目なし · · · · d 防護柵 (網) 工事 ● 評価対象項目 ● 判断基準 □ 通りが良い。 該当5項目以上・・・・ a □ 端部処理が良い。 該当4項目 □ 部材表面に傷及び錆が無い。 該当3項目 · · · · c □ 既設構造物等とのすりつけが良い。 該当2項目以下 ・・・・ d □ きめ細やかに施工されている。 □ 全体的な美観が良い。 標識工事 ● 判断基準 ● 評価対象項目 □ 設置位置に配慮がある。 該当4項目以上 · · · · a □ 標識板の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。 該当 3 項目 ・・・・ b □ 標識板の支柱に変色が無い。 該当2項目 · · · · c 該当1項目以下 ・・・・ d □ 支柱基礎が入念に埋め戻されている。 □ 全体的な美観が良い。 ● 評価対象項目 区画線工事 ● 判断基準 該当4項目以上・・・・ a □ 塗料の塗布が均一である。 □ 視認性が良い。 該当 3 項目 ・・・・ b □ 接着状態が良い。 該当 2 項目 ・・・・ c □ 施工前の清掃が入念に実施されている。 該当1項目以下 ・・・・ d □ 全体的な美観が良い。

別紙 — 3 ② ② 〔記入方法〕 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

*****	T. 種	a	b	c	d
考査項目	上	□ 優れている	□ やや優れている □	他の評価に該当しない	□ 劣っている
3. 出来形及び	維持修繕工事	● 評価対象項目		● 判断基準	-
出来ばえ		□ 小構造物等にも注意が払われている。		該当 3 項目以上 ・・・・ a	
		□ きめ細かな施工がなされている。		該当 2 項目 ・・・・ b	
Ⅲ. 出来ばえ		□ 既設構造物とのすりつけが良い。		該当 1 項目 ・・・・ c	
		□ 全体的な美観が良い。		該当項目なし・・・・ d	
				21-71-31-0	
	機械設備工事	● 評価対象項目		● 判断基準	
		□ 主設備、関連設備及び操作制御設備が	全体的に統制されており、運転操作性が良い。	該当4項目以上・・・・ a	
		□ きめ細かな施工がなされている。		該当 3 項目 ・・・・ b	
		□ 土木構造物、既設設備等とのすりつけた	5良い。	該当 2 項目 ・・・・ c	
		□ 溶接、塗装、組立等にあたって、細部に		該当1項目以下 ・・・・ d	
		□ 全体的な美観が良い。			
	電気設備工事	● 評価対象項目	● 判断基準		
		□ きめ細やかな施工がなされている。		該当5項目以上 ・・・・ a	
		□ 公共物として、安全性の確保、環境及び	『維持管理等への配慮がなされている。	該当 4 項目 ・・・・ b	
		□ 動作状態において、電気的及び機械的な	は異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。	該当3項目 ・・・・ c	
		□ ケーブル等の接続方法及び収納状況が近	句切である。	該当2項目以下 ・・・・ d	
		□ 操作、保守点検等の容易さを確保する /	こめの配慮がなされている。		
		□ 全体的な美観が良い。			
	通信設備工事	● 評価対象項目		● 判断基準	
	受変電設備工事	□ 公共物として、安全性の確保、環境及び	<b>『維持管理等への配慮がなされている。</b>	該当5項目以上 ・・・・ a	
		□ 動作状態において、電気的及び機械的な	x異常が無く、総合的な機能や運用性が良い。	該当4項目 ・・・・ b	
		□ 当該設備及び関連設備が全体的に協調及	なび統制され、総合的な性能向上への配慮がなされて	いる。 該当 3 項目 ・・・・ c	
		□ 操作、保守点検等の容易さを確保する力	上めの配慮がなされている。	該当2項目以下 ・・・・ d	
		□ 全体的な美観が良い。			
	シールド工事・ 推進工事	● 評価対象項目		● 判断基準	
		□ 構造物の通りが良い。		該当4項目以上 ・・・・ a	
		□ 内空面に補修の箇所がない。		該当 3 項目 ・・・・ b	
		□ 内空面にクラック、傷がない。		該当2項目 ・・・・ c	
		□ 漏水がない。		該当1項目以下 ・・・・ d	
		□ 全体的な美観が良い。			
	管路工事	● 評価対象項目		● 判断基準	
		□ 接合状況が良い。		該当4項目以上 ・・・・ a	
		□ 管内外面に補修痕等がない。 □		該当3項目 ・・・・ b	
		□ 小構造物等にも細心の注意が払われてい	いる。	該当 2 項目 ・・・・ c	
		□ 埋設位置が適正である。		該当1項目以下 ・・・・ d	
		□ 施工管理記録等から不可視部分の出来に	ばえの良さがうかがえる。		
	さく井工事	→ 部/正社会-西口		Mathlet 'th' Mit	
	(2) 井上事	● 評価対象項目		● 判断基準	
		□ 孔口の保護が適切になされている。	\+\h\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	該当3項目以上 ・・・・ a 該当2項目 ・・・・ b	
		□ 掘削スライム、泥水等の処理が適切にた		B	
		<ul><li>□ ケーシング、スクリーン等が適正に施□</li><li>□ 全体的な美観が良い。</li></ul>	-G41 C4,0°	該当1項目 ・・・・ c 該当項目なし ・・・・ d	
		三年的な夫観が良い。		政 月 は し ・・・・ d	
	i e	1			

### 別紙-3 26

〔記入方法〕 1.該当する項目の□に「レ」マークを記入する。

С 考查項目 工 種 優れている やや優れている 他の評価に該当しない 劣っている グランド・コート舗装工事 3. 出来形及び ● 判断基準 ● 評価対象項目 (野球場・グランド・芝舗装・テ 出来ばえ □ 平坦性が良い。 該当4項目以上 ・・・・ a ニスコート等) □ 表面処理が均一で良好である。 該当3項目 . . . . b Ⅲ. 出来ばえ □ 植生(芝)状況が均一で良好である。 該当2項目 · · · · c □ 内、外野および外周との取り合い(すりつけ)が良い。 該当1項目以下 · · · · d □ 外構施設へのすりつけが良い。 防球ネット ● 評価対象項目 ● 判断基準 □ 施設の通りが良い。 該当4項目以上・・・・ a 該当3項目 ... b □ 取付金具、端部処理にきめ細かさが見られる。 □ ワイヤー、ネットの張り具合が均一でたるみがない。 該当2項目 · · · · c 該当1項目以下 ・・・・ d □ 部材表面に傷、錆等がない。 □ 全体的な美観が良い。 木柵工事 ● 評価対象項目 ● 判断基準 □ 木柵の通りがよい。 該当5項目以上・・・・ a □ 材料のかみ合わせが良い。 該当 4 項目 ・・・・ b □ 天端、端部の処理が良い。 該当3項目 □ 既設構造物等とのすりつけが良い。 該当2項目以下 ・・・・ d □ きめ細やかな施工がなされている。 □ 全体的な美観が良い。 鋼橋補修工事 ● 評価対象項目 ● 判断基準 (炭素繊維シート工法) □ 表面処理が均一でずれが無い。 該当4項目以上・・・・ a □ シートの接着状況が適切で大きな浮きやふくれがない。 該当 3 項目 ・・・・ b □ 隅角部仕上げ、端部仕上げ等が良い。 該当2項目 · · · · c □ 施工管理記録等から不可視部分の出来映えの良さがうかがえる。 該当1項目以下 ・・・・ d □ 全体的な美観が良い。 浚渫・河道掘削工事 ● 評価対象項目 ● 判断基準 該当4項目以上・・・・ a ■ 通りが良い。 □ 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 該当3項目 ... b □ 汚染土壌は適切に処理されている。 該当2項目 · · · · c □ きめ細かな施工がなされている。 該当1項目以下 ・・・・ d □ 全体的な美観が良い。 コンクリート二次製品工事 ● 評価対象項目 ● 判断基準 □ 土工の仕上げが良い。 該当6項目以上 · · · · a □ 土工の通りが良い。 該当 5 項目 ・・・・ b □ 土工の構造物等へのすりつけが良い。 該当3項目以上 ・・・・ c 該当2項目以下 ・・・・ d □ コンクリート構造物の通りが良い。 □ 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 □ 施設の通りが良い。(排水側溝、フェンス等) □ 全体的な美観が良い。

# 別紙-3 ②

〔記入方法〕 1. 該当する項目の□に「レ」マークを記入する。 (検査員)

考査項目	工 種	a		b		Ċ			d
与重視日	上 俚		優れている		やや優れている		他の評価に該当しない		3 劣っている
3. 出来形及び 出来ばえ	上記以外の公示	● 評価対象項目				•	) 判断基準 該当 4 項目以上 ・・・・ a		
Ⅲ. 出来ばえ		□ <u>理由:</u> □ <u>理由:</u>				<u> </u>	該当 3 項目     · · · · · b       該当 2 項目     · · · · · c       該当 1 項目以下     · · · · · d		
		□ 理由:				<u>—</u>			
		□ 理由:							
		理由:	<b>新からの延備対象項目で延備</b>	た行う ただし	、評価対象項目は最大5項目とで	<u>ー</u> ナス			